



道政報告

あついにこころを道政に!

[特集]北海道議会 第1回 定例議会

議員活動も最終年度に入りますが、引き続き精力的に活動し全ての道民の皆さまが誇らしく思える北海道づくりに取り組んでまいります。

屋外広告物について

おこし:屋外広告物の落下事故を未然に防ぐために必要な広告主からの現状報告の状況は?

建設部長:設置後10年以上が経過し、点検から1年以上経過したものを対象に行った屋外広告物の現状報告の回答率は今年2月末までに99.3%となり、異常ありの広告物は改修や除去、安全管理の指導を行うこととなっている。

おこし:道民の安全な暮らしを守るため、屋外広告物に対する道の取り組みは?

知事:屋外広告物の広告主や管理者が適切に維持管理していくことが重要だが、各振興局が安全点検パトロールや講習会を開催している。また、広告主等が道に提出する3年ごとの継続許可申請の点検結果について、専門家の意見を聞きながら規則の改正などを早急に進め、道民の安全確保に取り組んでいく。



▲3月7日付 北海道新聞朝刊に掲載されました

ムスリム観光客への対応について

おこし:インドネシアやマレーシアに多く見られるムスリム観光客の現状とその対応について伺う。

観光振興監:外国人観光客500万人の実現に向けてはムスリム比率の高い地域への誘客活動の強化が重要。ムスリムが利用できる飲食店や礼拝できる場所などの受入体制や情報発信を充実させていく方針。

おこし:今後、ムスリム観光客の方々に気持ちよく北海道旅行を楽しんで頂くため、どのような対応を?

知事:礼拝や食事など宗教上の戒律における旅行中のストレスや不便を解消するため、レストランやホテルに対し、セミナーやワークショップを開催。ムスリムフレンドリーの考え方の普及に取り組み、年内に作成するガイドブックや様々な媒体を通じて、ムスリム観光客の誘致を進めていく方針。



まんが・アニメ王国 ほっかいどうの推進について

おこし:まんが・アニメ王国ほっかいどうの実現に向けて、今後の課題への認識は?

知事:まんが・アニメ文化の振興は、若手漫画家の発掘・育成を図り、北海道の魅力を効果的に発信することを狙いとしている。今後は様々なメディアをはじめ、観光やコンテンツ関連産業における情報発信ニーズと結び、その可能性を広げていく考えである。

おこし:北海道150年と連動したまんが・アニメ文化への取り組みは?

知事:第3回「北のまんが大賞」では本道にゆかりのある偉人や歴史上の名シーンを描くイラスト部門と中学生以下の部門を新設する予定。官民一体となって受賞者をバックアップするネットワークづくりに取り組み、北海道の新しい文化資源を国内外に発信することで、若い才能が躍動する地域づくりに取り組んでいく。



「第2回 北のまんが大賞」
●大賞作品
「いつか想いでになる今日を」
●受賞者
あいば ゆう さん(札幌市)
(※引用/北海道庁HPより)

▲3月7日付 読売新聞朝刊に掲載されました

道イスラム圏の誘客強化
知事 食卓・礼拝対応法を周知
「ムスリム観光客の現状とその対応について」
「まんが・アニメ王国ほっかいどうの実現に向けて」
「北海道150年と連動したまんが・アニメ文化への取り組み」
「第2回 北のまんが大賞」



▲増加が期待されるムスリム観光客対応の基本的な情報を紹介します

知的財産の保護について

おこし:農産物などの国産品が諸外国に流出している問題について、道の知的財産保護の現状認識は?

経済部長:道産農産物等の輸出の拡大やブランド価値の向上に伴い、知的財産が損なわれるリスクが高まると考えられることから、海外における品種登録など、適切に対応していく必要性を感じている。

おこし:国が示した日本の品種保護(農産物の育成者権)強化の取り組みについて、制度の仕組みや道の対応は?

農政部長:育成者権は知的財産権であり、登録により一定期間、その権利は保護されているが、海外における品種登録を行っていなかったため、一部の農産物が海外で無断栽培される事例が確認されている。道では関係機関とともに種子の持ち出しを防止し、国の支援事業を活用して海外における品種登録を積極的に推進していく。

おこし:本道の知的財産を守るため、どのように取り組んでいくのか、知事の見解は?



▲3月6日 HBCテレビ「今日ドキッ!」にて放映されました

知事:国に対してはアジア各国における品種保護制度の整備の促進を求め、一次産業などの関係者に知的財産権取得の必要性についての普及啓発、国と連携した海外での冒認商標出願などの情報提供を行い、北海道ブランドの価値の向上につながる取り組みを推進していく。



がん対策について

おこし:次期がん対策推進計画にも加えられたがんゲノム医療をどのように推進していくのか。

知事:中核拠点病院に指定された北大病院との連携体制の構築に努め、道民の理解促進に向けた普及啓発や人材の育成に取り組み、道民が身近な地域でがんゲノム医療が受けられるように努めていく。

英語教育について

おこし:小学校における英語の教科化に向けて、具体的な取り組みは?

教育長:子どもが英語嫌いにならないよう、新年度は道内6管内で小学校英語力向上支援事業を実施し、来年度以降はその成果を全道に普及するなどして、小学生の英語力の向上に取り組んでいく。



TOPICS
北海道150年事業
道庁赤れんが庁舎プロジェクト
マッピングを実施

150 その先の、道へ。北海道 Hokkaido. Expanding Horizons. 2018年は北海道150年

2018年1月19日から2月25日まで、北海道庁赤れんが庁舎の壁面を利用したプロジェクトマッピングが上映されました。北海道150年事業の一環として、パートナー企業である加森観光が手がけたもので、プロジェクトマッピングとは、建物や空間などにコンピューターで作成した映像を映し出す最新の技術です。期間中は毎日12分間の映像を10回放映。シマフクロウがアイヌの神々と出会いながら、観衆の皆様を大地創造の世界へと導くというテーマで、北海道の自然やアイヌ民族の世界観をイメージした音と映像の世界が繰り広げられました。

